



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'00 7月号

夏期特別展

時代の先駆者 よみがえる村井弦斎

- 明治の実用小説家 -



7月7日(金)～8月31日(木)

博物館特別展示室：入場無料

平塚に居住した小説家村井弦斎の刊行書、草稿原稿、日記、書簡、遺品等を展示します。

10万部を越えるベストセラーとなった「食道楽」をはじめ、明治から大正にかけてさまざまな著作を遺した村井弦斎は、明治37年より平塚に居を構え、野菜畑、果樹園、家畜小屋を設けて、材料づくりの段階から「食道楽」を実践しました。それは実は彼がめざした社会変革の一過程としての、生活様式に関する試みだったと言えます。21世紀を迎えようとする今、「発明発見と生活改良による社会進歩」を唱えて活動した弦斎の業績を、もういちど検証し直してみましょ。

主催：平塚市博物館
共催：平塚市中央公民館、平塚市中央図書館 平塚市文化財団
後援：読売新聞社
協力：神奈川県立神奈川近代文学館

『紀文大盡』明治25年4月博文館の少年文学全集第11編として発行される。後、英訳され明治37年ニューヨークで、同39年日本でも出版された。

***** 関連事業 *****

記念シンポジウム

『時代の先駆者 よみがえる村井弦斎 - 弦斎、WHO? - 』

8月5日(土) 午後1:00～4:30 中央公民館1階大ホール

基調講演：村上信夫(帝国ホテル料理顧問、元総料理長)

パネリスト：河内 紀(放送作家)・小菅桂子(くらしき作陽大学教授)・長山靖生(文芸評論家)・火坂雅志(作家)・吉野稜威雄(平塚市長)・土井 浩(平塚市博物館学芸員) 総合司会：大須賀瑞夫(広報広聴課) 参加希望の方は往復はがきに「記念シンポジウム申込」と書いて博物館までお申し込みください。

二十一世紀の大予言募集「未来科学の作文」「未来科学の夢絵画」

市内の小中学校の児童生徒対象。各学校で募集要項を配布しています。

絵画入賞作品は12月19日～平成13年(2001年)1月14日に博物館に展示、作文入賞作品は文集を刊行します。

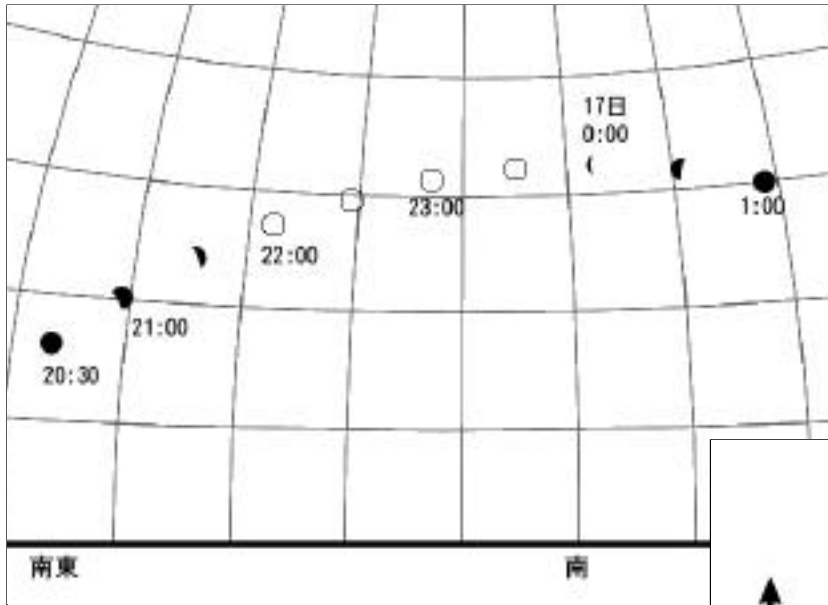
弦斎の食道楽を食べる

なでしこ、花水、旭北、岡崎・大原・崇善・金田各公民館で「弦斎料理の教室」(調理と試食)を開催します。(各公民館にお問い合わせください)

夏休み直前の天体ショー

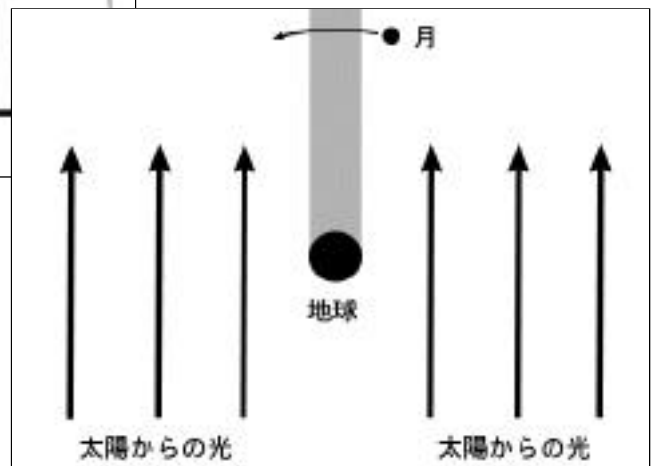
7月16日の皆既月食を見よう

7月16日の皆既月食進行図（線は10度おき）



双眼鏡などがあれば部分食の時に地球の影のふちのようすを眺めてみるのもよいでしょう。地球の自転による動きのため、見かけ上月は東から西に移動して行きます。しかし月の公転方向は日本では向かって右から左になるので、左側から地球の影に入り、欠け始めます。

7月16日から17日にかけての夜に、皆既月食が見られます。月は太陽の光を反射して輝いていますが、この夜地球の作る影の中を通るため、暗く見えるのです（下の図参照）。地球の影はふちがぼけていて、部分食の状態では影のふちはあまりはっきりしません。また、暗い部分にも赤っぽい光が入り込んでいるので、皆既中でもふつうは赤黒い月が見られます。今回、月は影の中心近くを通るので、皆既の継続時間が長くなります。肉眼でも観察できますし、もしも



七夕・夏休み プラネタリウムで星空の旅へ ****

平塚七夕まつり50周年記念事業
こども向け投影特別公開

「ぴかちゃんとおりひめさま」

七夕まつりは星の祭りです。市街地では見られない満天の星空を楽しみましょう。下記期間、その夜のおりひめ・ひこぼしの見つけ方を解説します。同時に七夕にちなんだ幼児団体向けの投影を初めて一般公開します。幼児～小学校低学年・家族向けの内容です。

期 間：7月8日（土）～7月11日（火）

（10日月曜日も実施）

開演時刻：11時、14時、16時（途中入場はできません）

観 覧 料：1人100円

夏休みの投影テーマ

「ギャラクシー・クルーズ」

一緒に都会の喧騒とまぶしさを離れ、銀河をめぐりに出かけましょう。銀河は夏の夜空を南北にながれます。銀河系の今の姿を、そして未来に起こる出来事を、銀河の歌にのせて、時空の流れをたどります。

（毎回当日の星空と「ギャラクシー・クルーズ」の二本立てで投影します）

期 間：7月22日（土）～9月3日（日）

投影日：水木土日曜日の11時と14時

（途中入場はできません）

観覧料：1人100円

やってみたいこと、てんこ盛り！

夏休みの行事案内

漂着物を拾う会

浜に打ち上げられた漂着物を拾い観察します。

日時：7月8日（土）8月12日（土）9時半～11時

場所：虹ヶ浜海岸

申込：自由参加ですが、初めて参加される方は往復八ガキで申し込んでください。集合場所等案内をお送りします。

自然観察ゼミナール「セミの観察」

セミのぬけがらの見分け方や、羽化の観察など。

日程：8月 3日（木）午後1時～3時 博物館科学教室

8月10日（木）午後6時～8時 羽化の観察
（高麗山）

8月11日（金）午前9時～12時 ぬけがら調べ
（高麗山）

申込：7月15日までに往復八ガキで。小中学生とその保護者に限る。30名まで。

自然観察会「相模湾の海鳥」

漁船に乗ってオオミズナギドリの群を観察します。

日時：7月28日（金）9時～12時

場所：平塚港

申込：7月15日までに往復八ガキで。30名を越えた時は抽選。なお、天候によっては船がそうとう揺れることもあります。

体験学習「地形模型を作ろう」

地図を使って立体的な地形模型を作ります。

日時：8月1日（火）、4日（金）

場所：博物館科学教室

対象：小学4年生以上

申込：往復八ガキに住所・氏名・年齢を書いて7月17日までに申し込んで下さい。

定員：20名 参加費：1700円程度（材料費）

星を見る会「夏の星空を観察しよう」

望遠鏡で月や星を観察します。

日時：7月28日、8月4日、11日、18日、25日（すべて金曜日）19時～20時30分

場所：博物館屋上

* くもりや雨の場合は中止になります

ろばたばなし

展示室民家で相模地方の伝説と昔話を聞きませんか？

日時：7月16日（日）8月20日（日）13時30分、15時

場所：1階展示室民家 参加自由

自由研究相談会

夏休みを利用した自由研究の進め方や、集めた資料について、学芸員が相談に応じます。

日時：7月26日（水）、8月23日（水）9時～12時

場所：博物館科学教室

体験学習「縄文土器を作ろう」

土器作りを通して縄文人の技術を体験しましょう。

日程：8月9日（水）～11日（金）博物館(室内)

8月23日（水） 博物館（野外）

申込：往復八ガキに住所・氏名・年齢を書いて、7月20日までに申し込んで下さい。

対象：小学生5年生から中学生

定員：20名 材料費：420円かかります。

こども観察会「コウモリと鳴く虫」

相模川の川原でコウモリの飛ぶ姿を見たり鳴く虫の声を聞いたりします。

日時：8月26日（土）午後5時～7時半

場所：相模川（馬入付近）

申込：8月10日までに往復八ガキで。小中学生および保護者に限る。30名まで。

自由研究相談会から生まれた「街路樹の研究」

今から4年前、一人の中学1年生が「自由研究相談会」に参加し、街路樹の調べ方について相談していきましました。その芳村奈央子さんは、それから2年後の夏休みにも同じテーマの相談にみえ、中学校の卒業論文として「平塚市の街路樹の研究」をまとめあげました。その内容がすばらしいものだったので、博物館の調査研究報告誌「自然と文化」に投稿してもらうことになり、いくつかの補充調査をした上で、今春第22号に掲載されました。

皆さんの自由研究も、しっかり取り組めば、広く発表するチャンスが生まれます。本気を出してみようという人は、ぜひ相談会に参加してください。

：展示（無料）・プラネタリウム（観覧料）

：申込制

：自由参加 無印：年間会員制

博物館カレンダー

2000年7月

2	日	地質調査会	野 外
6	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
7	金	古文書講読会	講 堂
		☆ 特別展「村井弦齋展」 (～8月31日)	特展室
8	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		☆ プラネタリウム「ピカちゃんとおりひめさま」 (～7月11日)	プラネ室
9	日	○ みんなで調べよう「カタツムリ」	科学室
12	水	地質調査会	特研究室
13	木	石仏を調べる会	
14	金	古文書講読会	講 堂
16	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
		民俗探訪会「高来神社船祭り」	大 磯
		地質調査会	科学室
		天体観察会「皆既月食」	屋 上
19	水	裏打ちの会	科学室
		相模川の生い立ちを探る会	富士山
21	金	古文書講読会	講 堂
22	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
		☆ プラネタリウム「キヤクシーコース」 (～9月3日)	プラネ室
23	日	古代遺跡を探す会	野 外
26	水	◎ 自由研究相談会	科学室
27	木	石仏を調べる会	特研究室
28	金	古文書講読会	講 堂
		○ 自然観察会「相模湾の海鳥」	相模湾
		◎ 星を見る会「夏の星空」	屋 上
29	土	天体観察会「スターウォッチング調査」	屋 上

七夕まつり中の7月10日(月)は臨時開館しています(時間等平常通り)。

☆今月の寄贈品コーナー「平塚大空襲」

55年前の夏、わたしたちの街を見舞った悲劇に関連する資料を展示します。

期間：9月8日まで

● ホームページを開設しました

平塚市博物館のホームページを下記のアドレスにて開設しました(7月1日)。内容は、博物館の施設紹介のほか、行事や刊行物のご案内などです。また、資料解説や観察ガイドなども随時掲載します。ぜひご利用下さい。

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum>

2000年8月

1	火	○ 体験学習「地形模型を作ろう」	科学室
		☆ 特別展「村井弦齋展」 (～8月31日)	特展室
3	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
		○ 自然観察セミナー「セミの観察」	科学室
4	金	○ 体験学習「地形模型を作ろう」	科学室
		古文書講読会	講 堂
		◎ 星を見る会「夏の星空」	屋 上
5	土	地質調査会	野 外
		天体観察会「スターウォッチング調査」	屋 上
		○ 特別展記念シンポジウム「弦齋-WHO-」	館外
9	水	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
		地質調査会	特研究室
10	木	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
		石仏を調べる会	特研究室
		○ 自然観察セミナー「セミの観察」	野 外
11	金	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
		古文書講読会	講 堂
		○ 自然観察セミナー「セミの観察」	野 外
		◎ 星を見る会「夏の星空」	屋 上
12	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		天体観察会「スターウォッチング調査まとめ」	科学室
13	日	民俗探訪会「盆の砂盛」	金 目
		地質調査会	科学室
15	火	戦跡見学会	市 内
17	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
18	金	古文書講読会	講 堂
		◎ 星を見る会「夏の星空」	屋 上
		空襲と戦災を記録する会	特研究室
20	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
23	水	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	野 外
		◎ 自由研究相談会	科学室
24	木	石仏を調べる会	特研究室
25	金	古文書講読会	講 堂
		◎ 星を見る会「夏の星空を見よう」	屋 上
26	土	民俗探訪会「御獄神社の獅子舞」	相模原
		○ こども観察会「コウモリと鳴く虫」	金目川
27	日	古代遺跡を探す会	野 外

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料)
○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

夏休みの行事案内は3ページに掲載しました

あなたと博物館 25巻 4号 通巻282号 発行 平塚市博物館 2800

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949